

第四回 「諏訪形誌を歩く」

諏訪形自治会では令和二年（二〇二〇年）「上田市わがまち魅力アップ応援事業」の補助金をいただいて『諏訪形誌』を刊行しました。刊行に際して「本を出して終わり」とせず、『諏訪形誌』を地域の活動に活かしていきたい」という方針で「諏訪形誌活用委員会（柳澤公一委員長）」を立ち上げました。

その後、コロナ禍のため、活動が思うように進められない面もありましたが、『諏訪形誌（デジタル版）』で公開しているウォーキングマップ「諏訪形誌を歩く」を元にしたウォーキングイベントを企画してきました。今回はその四回目として五月二十九日、「諏訪形の教育関連遺跡を歩く」を実施しました。今回イベントの様子をお伝えします。

亮功学校跡

まず、御所の「亮功学校跡」に集合し、スタートです。

御所の古刹祥雲寺は戦国時代の終わりに開基「つくられたこと」と伝えられています。

その祥雲寺に明治六年（一八七三年）に「亮功学校（りようこうがっこう）」が設けられ、中之条村、御所村、諏訪形村、小牧村の子どもたちが通うようになりました。就学率はおよそ七〇%だったとのこと。



筆塚・荒神宮への道しるべ

諏訪形に向かう途中、田子家の庭にある「御所の筆塚」に立ち寄りしました。この筆塚は二代目田子栄三（尚廉）師の功績をたたえるために弟子たちの手によって建立されたものです。

二代目田子栄三の高弟として知られた諏訪形の宮下理兵衛はその後、諏訪形の子どもたちの教育にも尽力しています。

また、筆塚の隣には「荒神宮への道標」も置かれていて、往時の荒神宮の賑わいが思われます。



三好町橋、諏訪形橋があった場所を歩いていよいよ諏訪形に入ります。



最初の城下小学校

明治二年（一八八九年）に「市制町村制」が施行され、城下村が誕生すると、「城下尋常小学校」が開校しました。明治三年（一八九〇年）には、現在の上田電鉄城下駅西側一帯に新校舎が建設され、これによって、それまでの「若宮学校」と「亮功学校」はなくなりました。

その後、城下尋常小学校は大正十一年（一九二二年）に現在の場所に移転しました。

下の写真は現在の城下駅西側ですが、当時の面影は全くありません。

上田高校旧プール跡

昭和五年（一九三〇年）、旧制上田中学校に水泳部が創設されましたが、練習場所は千曲川などだったため、十分な練習ができませんでした。そこでプールを建設するための用地を探し、諏訪形の堀尾地籍（現高田屋旅館東側）の土地を同窓会が借り上げて、昭和八年（一九三三年）に東西二五メートル、南北一五メートルのプールが完成しました。

このプールは長い間使われましたが、昭和四〇年（一九六五年）、上田高等学校の敷地内に本格的なプールが完成したことによって、昭和四三年（一九六八年）に廃止となりました。

このプールがあった場所は現在では住宅地となっていて、当時の面影は残っていません。しかし、地元の方々は「ちよっとした悪さも含まれて」このプールにはいろいろな思い出があるようです。「諏訪形の教育関連遺跡を歩く会」の時に、諏訪形誌活用委員会の北沢伴康顧問、柳澤公一委員長、阿部和子委員などが上田高校旧プールについていろいろ面白い話をしてくれました。

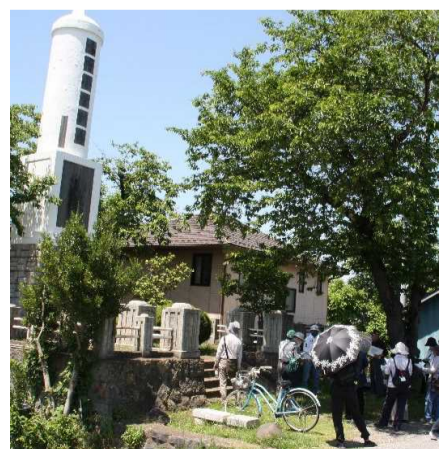
左の写真は当時の様子を記録したものです。

（窪田善雄自治会長 提供）



小菅訓導遭難事故と小菅訓導殉職記念碑

昭和四年（一九二九年）四月二日、遠足帰りの上田尋常高等小学校本校部の一歩生徒が近道をすると、須川地区内散策」を計画しています。後日回覧でお知らせしますので、ご参加ください。



我が身を犠牲にして教え子を救った行為に対し、上田市をはじめ各地の多くの教育関係者、市内の新聞三社などが中心になって広く義援金を募り、殉職近くの千曲川畔に殉職記念碑を建立して永くこの偉業を後世に伝え、現在に至っています。

若宮学校跡

諏訪形村や小牧村の子どもたちが遠い御所村の亮功学校（今回のウォーキングの出発点）まで通学することは不便だったので、明治八年（一八七五年）諏訪形村に「諏訪形学校」が開校しました。当初は民家を借りた学校でしたが、その後、小牧村、諏訪形村、枝村の須川から寄付金を集め、明治十一年（一八七八年）に若宮地積（荒神宮西側）に新校舎を建設しました。当初「智仁学校（ちじんがっこう）」と称していましたが、明治十五年（一八八二年）に「若宮学校」と改名しました。



なお現在、この場所には「諏訪形誌刊行委員会」による案内板が立てられています。

ご参加いただいた皆さんの感想

- ・講師の方に説明していただき、よくわかって良かった。
- ・だんだん心の中が消えていくものを見直して良かった。
- ・小道など「こんな所にあっただんだね」と思った。
- ・御所の井戸など見過ぎていた場所が見られて良かった。
- ・「トイレはどこ？」心配しながらのスタートでした。
- ・（歩く距離が長かったため）少々歩きがきつかった。

今回のイベントの概要をお伝えしました。詳しい資料やウォーキングマップなどは「諏訪形誌ウェブ版」[\(https://suwayama.ueda-common.net/\)](https://suwayama.ueda-common.net/)をご覧ください。

また、諏訪形誌活用委員会では七月後半に第五回ウォーキングイベント「須川への旧道と須川地区内散策」を計画しています。後日回覧でお知らせしますので、ご参加ください。